

科目区分	専門分野			科目番号	1302	曜日時間	
授業科目	国際看護・災害看護						
単位数	1 単位	時間	30 時間	開講時期	2 年次	授業形態	講義
担当教員	中澤 弘子 ・ 吉松 高志						
授業目的	災害看護を実践できる基礎的能力を身につけるとともに、国際看護における具体的な活動が考察できる。						
中核	看護とグローバル化						
授業目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 国際社会における保健・医療・福祉の現状および課題を理解する。 2. 国際看護活動の実際を理解する。 3. 多様な文化や価値観を理解し、広い視野を持つことができる。 4. 国内外の災害の現状を理解する。 5. 災害発生時の対応や体制について理解する。 6. 災害のサイクルにおける災害医療や予防的看護の実際を理解する。 						
授業の内容と方法	回	授業内容	授業方法	時間	担当	備考	
	8	<ol style="list-style-type: none"> I. 国際看護とは 活動の場や組織、方法の理解 II. 国際社会の現状と看護活動の課題 世界の歴史から国際協力の現状 III. 国際看護活動の現状とその対象 海外の看護活動の現状 日本の外国人に対する看護の現状 IV. 世界の国際看護活動の組織 海外の国際看護活動機関とその実際 日本における国際看護活動機関とその実際 V. 日本と異なる文化の理解 異文化とは(日本と海外の相違) 方法の検討(言葉の壁・習慣の相違) VI. 今後の国際社会の発展 	講義	16	中澤 弘子		
実務歴有	看護師						
講義への反映	国際看護の実務及び実践の報告を通して国際的な感覚を持てるよう講義を展開する						
授業の内容と方法	7	<ol style="list-style-type: none"> I. 日本と世界の災害の現状 II. 災害医療と災害看護とは 災害の定義、種類 災害に関連する法律 災害の種類による被害・疾病の特徴 災害による被災者および救護者の心理 III. 災害サイクルと各サイクルに応じた看護の実際 災害看護の定義・特徴 災害サイクルに応じた看護の役割 (初期・中期・静穏期) 災害時に必要な看護技術 (トリアージ・致死的外傷に対する救急処置・搬送) IV. 災害後の発達段階・健康障害に応じた看護 V. 被災者と救済者のこころと身体的ケア 	講義	14	吉松 高志		
実務歴有	看護師						
講義への反映	災害看護の実務及び実践の報告を通して災害看護に関心が持てるよう講義を展開する						
終了後課題							
評価計画方法	筆記試験・授業態度						
テキスト参考図書	竹下喜久子ほか：系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践[3] 災害看護学・国際看護学【電子版】医学書院						
備考							